

ベトナム「デジタル金融包摂支援事業」(BL融資)



デジタルファイナンスを通じてベトナム中小零細事業者の金融包摂に貢献

事業概要

本事業は、ベトナムにおいて、Tien Phong Commercial Joint Stock Bankへの長期融資を行うことにより、同国における中小零細事業者（Micro, Small and Medium Enterprise。以下「MSME」という。）及び低所得者層の金融アクセス、特にMSMEのデジタル金融アクセスを促進し、もって持続的な経済成長に寄与するもの。JICAの資金は30%以上がMSME向けのデジタルファイナンスに活用され、残りの70%以下が非デジタルなMSME及び低所得者向け融資に活用される予定。またJICAの融資額のうち、最低でも30%は女性が経営する企業及び女性低所得者層向け融資に活用される予定。

本事業のポイント

デジタルファイナンスを通じベトナムMSMEの金融包摂に貢献

- ベトナムにおける中小零細事業者は全事業者の約98.7%、GDPの約45%、雇用の約63%以上を占め、経済全体において大きな役割を担う。一方で、MSME等の経営・財務情報を長年紙の資料で取扱ってきたことから、融資取引にあたっては対面を重視する傾向が強く、デジタル化による効率的な融資取引のボトルネックとなっており、結果として、MSME等は銀行窓口の存否によって金融へのアクセス可否が左右される状況にある。
- TP Bankは オンライン融資プラットフォームの開発・実装に取り組む等、ベトナム国内のデジタルバンキング領域におけるリーディングカンパニーとして認知されている。
- 本事業では、TP Bankの有するデジタルバンキングサービスを活用し、ベトナム国内のMSME、なかでも従来の対面取引では金融へのアクセスが限られていた銀行窓口が少ない地域に拠点を構える顧客に対し、円滑かつ効率的な資金供給を通じて金融アクセス向上を図る。

